

令和7年10月14日

奥田小学校保護者 各位

美浜町立奥田小学校長
筒井 重光

令和7年度 「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

清秋の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろは本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、1学期に実施されました「全国学力・学習状況調査」における本校の調査結果を、愛知県版結果分析ソフトにより分析いたしました。

つきましては、下記のとおり分析の結果をお知らせいたします。ぜひご一読いただき、今後も保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら連携を図り、より一層の教育活動の充実に努めていきたいと考えております。よろしくお願い申し上げます。

記

1 調査結果

(1) 教科に関する調査

【国 語】

① 全体的な傾向

- ・問題の平均正答率は、愛知県および全国の平均解答率より下回っている。
- ・「書くこと」の領域について、他の領域と比較すると理解度が低い。

② 問題の正答率から見た考察

◇ 相当数の児童ができていない問題

- ・自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えること。
- ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くこと。
- ・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。

◆ 課題のある問題

- ・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。
- ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること。

<指導改善のポイント>

- 目的や意図に応じて情報を整理・構成し、伝え合う力を育てる対話活動を通して、主体的に表現する力を養う工夫をする。
- 目的に応じて文章と図表を関連付けながら、必要な情報を的確に読み取る力を育む活動を工夫する。

【算 数】

① 全体的な傾向

- ・問題の平均正答率は、愛知県および全国の平均解答率より下回っている。
- ・他の領域と比較して「測定」の領域については理解度が高いが、「図形」の領域については理解度が低い。

② 問題の正答率から見た考察

◇ 相当数の児童ができていない問題

- ・示された資料から必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算すること。
- ・異分母の分数の加法の計算をすること。
- ・はかりの目盛りをよむこと。

◆ 課題のある問題

- ・目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増加を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること。
- ・分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述すること。

- ・数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えること。

<指導改善のポイント>

- 目的に応じて適切なグラフを選び、数量の変化や関係を読み取らせ、言葉や数で理由を表現する力を育てる授業を工夫する。
- 分数の計算全般について、共通の単位分数や基準を見だし、数量の関係を数や言葉で表現する力を育てる授業を工夫する。
- 数や図形、計算、数量の関係を多様な方法で捉え、表現・活用する力を育てる授業を工夫する。

【理 科】

①全体的な傾向

- ・問題の平均正答率は、愛知県および全国の平均解答率よりやや下回っている。
- ・他の領域と比較して「地球」を柱とする領域については理解度が高いが、「生命」を柱とする領域については理解度が低い。

②問題の正答率から見た考察

◇相当数の児童ができていない問題

- ・赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現すること。
- ・赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、「結果」や「問題に対するまとめ」を基に、他の条件での結果を予想して、表現すること。
- ・「水は温まると体積が増える」を根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、表現すること。

◆課題のある問題

- ・身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いていること。
- ・発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな課題を見だし、表現すること。

<指導改善のポイント>

- 実物を用いた体験的な活動を通して、性質や変化を観察・比較しながら科学的な理解を深める工夫をする。
- 実験結果の共通点や差異に着目させ、自ら課題を見だし、科学的に表現・考察できる力を育む活動を工夫する。

(2) 生徒質問紙調査

◇全国や愛知県の値より優れている項目

- ・人の役に立つ人間になりたいと思っている。
- ・学校に行くのは楽しいと思っている。
- ・友達関係に満足している。

◆全国や愛知県の値と比べてやや課題があると思われる項目

- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思っていない。
- ・分からないことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていない。
- ・学校の授業時間以外で勉強している時間が少ない。

2 調査結果から見た課題と今後の取組

○教師の授業力を向上し、魅力ある授業づくりに努めます。

- ・グループ活動や討論など、他者の考えを尊重しながら意見交換する場を増やし、異なる意見に触れる意味や面白さを体感できる授業づくりに努めます。
- ・調べ学習や探究活動を通して、自分で問いを立てたり、情報を集めたりする学びのプロセスを経験させ、学び方の工夫をしていきます。

○家庭での学習習慣の確立を図っていくよう啓発します。

- ・児童自身が計画を立てて学習できるように、宿題を工夫して家庭学習の習慣を促します。
- ・各家庭に配付している「家庭学習の手引き」を参考に、勉強の計画の立て方や家庭学習の仕方などについて、家庭との連携を深めていきます。